



業務コード			目的・業務内容	管理指標	実績(H20)	目標	期限	困難度	人工 【時間数】	備考
2桁	4桁	6桁								
99			その他業務	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	3,394	
	9901		その他業務	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	3,394	
		990101	議会・監査対応	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	154	
		990102	予算作成	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	370	
		990103	条例等改正	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	60	
		990104	文書管理(ファイリング)	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	351	
		990105	行政評価事務	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	116	
		990106	課内庶務	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	1,514	
		990107	占用システム管理	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆	59	
		990108	県事業推進調整	適正処理	適正処理	適正処理	21年度	☆☆	770	

平成21年度 総括表

所属	建設経済部 建設課 管理係	係 表番号	1/2	内 線	1515				
総合計画の位置付け									
基本方針:99.その他施策を支えるもの 施策の柱:99.その他施策を支えるもの									
目 的		総合計画等指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	目標	期限
—		—	—	—	—	—	—	—	—
任務目的	公共用地(道路・河川)の適正な運用を図る	適正実施率	100%					100%	21年度
業務概要	公共用地(道路・河川)の適正な運用を図るため、財産管理や各種申請に対する指導、許可を行う	適正実施率	100%					100%	21年度
【目的(総合計画)管理指標の動向】									
【現状】									
河川や道路の管理として道路台帳を整備し、工事承認、占用申請を受け付けている。また敷地の境界確認として官民境界の立会いを行っている。また現場の管理として草刈等や軽補修を行っているが、予算が少なく満足できるところまでできないのが現状である。									
【現状の課題】									
占用物件の整理ができていない、占用料徴収とリンクできていない。占用物件の整理、早期電算化が望まれる。現場の管理についても草刈等ができていない部分があるので地元との連携もより求められている。									
【次年度改善措置】									
占用物件の電算への入力チェックを行うとともに道路パトロールを強化し現場の管理向上を目指す。									

目的(総合計画)
市民の生命と財産を守るため、地震などの災害被害の軽減が図られる社会の実現
任務目的(係の目的)
災害被害の軽減を図るため、河川管理を充実させる
業務概要
災害時に備え、河川に設置されている樋管等の管理を行うとともに、国・県管理河川の事業推進のための調整を図り、災害被害の軽減を図る。

2桁 大分類
01 河川の維持管理の充実

4桁 中分類
0101 河川の日常管理及び事業推進

6桁 小分類
0101 01 樋管管理及び指導
0101 02 国直轄河川改修事業推進・調整
0101 03 県管理河川改修事業推進・調整

平成21年度 総括表

所属	建設経済部 建設課 管理係	係 表番号	2/2	内 線	1515				
総合計画の位置付け									
基本方針:7.安心・便利・快適なまち【都市基盤】 施策の柱:6.防災・防犯対策の強化促進（総合計画 P94・P95）									
	目 的	総合計画等指標	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	目 標	期 限
	市民の生命と財産を守るため、地震などの災害被害の軽減が図られる社会の実現	まち全体の防災体制が強化されていると 思う人の割合	51.2%					50.0% (初年度実績)	23年度
任 務 目 的	災害被害の軽減を図るため、河川管理を充実させる	水害による人的被害者数	0人					0人	21年度
業 務 概 要	災害時に備え、河川に設置されている樋管等の管理を行うとともに、国・県管理河川の事業推進のための調整を図り、災害被害の軽減を図る。	適正実施率	100%					100%	21年度
【目的(総合計画)管理指標の動向】									
【現状】									
市内を流れる河川のうち主なものは一級河川菊川とその支川で、国直轄管理と静岡県による管理であり、市の管理部分は県の管理部分の上流側となる。管理において国は日常的にパトロールを行なっているが、県は回数も少なく、地域から寄せられた情報や要望を市を通して県にあげている状況である。樋門樋管の管理は、国県とも市が委託され、地域の方々に操作等をお願いしている。									
【現状の課題】									
維持管理において国と県の格差が大きく、また、地方分権により国管理から静岡県管理にに移管されようとしている。									
【次年度改善措置】									
樋門樋管の操作体制を維持し、現状の維持管理部部の低下を招かないよう国、県に要望をしていく。また権限委譲については、現状の管理体制レベル低下を招かないよう合わせて要望していく。									